

木造化

公共建築物利用

高野山こども園

建て替えを機に、世界遺産・高野山の町並みに調和させるとともに、こどもたちが木に親しみながら成長する環境を目指して木造化。県内の製材所から調達した紀州材は塗装を抑え、木の風合いや経年変化を楽しめる木造園舎とした。

問い合わせ先

住所 / 高野町教育委員会
電話 / 0736-56-3050



木の温もりを裸足で感じられるよう床暖房を採用。



①クラス名に合わせてデザインした木製看板を設置した。②室内には木の香りが漂い、五感を刺激する。③広さは848平米で、最大75人が利用可能。

地産地消型の木材活用は、森林機能の維持・促進や地球環境保全にも貢献する



宿泊施設は床やドアなど内装にも紀州材を使用。



木質化 民間非住宅建築物利用 ハピネスちかつゆ 夢

インバウンド利用が多いエリアの宿泊施設と食堂。和歌山の風土をより感じてもらえる空間作りのため、紀州材をできる限り活用。特に良質な材料を目立つパーツに使用するなど、紀州材の印象が残るよう木材選定に工夫を凝らした。

問い合わせ先

住所 / 田辺市中辺路町近露 931
電話 / 090-3055-3702



①大きな木製看板が利用者の目を引く。②窓からは季節ごとに表情を変える木々が見える。③食堂のテーブルセットも紀州材で制作した。



粘り強さや耐久性、
美しさを持つ紀州材は
多くの建築物に選ばれる

和歌山の林業

木を使う



「紀州材を確実に確保するため、調達計画作りも支援します。」(城本さん)。

和歌山県内の温暖多雨で急峻な地形から産出される紀州材は、住宅や公共施設、民間の非住宅建築物等で利用される。建築物の木造化に取り組む和歌山県建築士事務所協会会長の城本章広さんは「紀州材は年輪が緻密で木目が細かく、粘り強さもあり、高い強度を持っています。その特性は県が行う各種試験や測定結果で証明されています。見た目の美しさもあり、評価が高い木材です」と話す。同じ寸法の木材と紀州材を比較すると、強度は上回る性能があるものが多く、構造材に適しているという。

木材は炭素を長く蓄える性質を持つため、建築物に利用すれば、大気中へのCO₂の放出を防ぐ「カーボンストック」としての役割も期待ができる。さらに、鉄筋コンクリート造や鉄骨造に比べ、製造から利用・廃棄までに排出されるCO₂を抑えられるという。伐つて、使つて、植えて、育てるの過程でCO₂排出量が少ない木材は、脱炭素社会に貢献できるサステナブルな建築資材なのだ。

紀州材は県内で生産、製材、加工された木材であり、地元での活用が進めば、資材輸送による環境負荷も抑えられる。山から紀州材を伐り出し、建築物の木造・木質化を促進することは、環境にやさしく、森林や地球環境を守ることにつながる。

問い合わせ先

和歌山県建築士事務所協会
住所 / 和歌山市ト半町38番地
建築士会館3階
電話 / 073-432-6539

